

# 魔女戦記

MAGA BELLUM HISTORIA

~Fan Book~

# 魔女戦記とは

# 魔女戦記

神話を基に、現代日本を舞台にした新しい小説。自分を神視点とし、主人公の心情の変化や成長を追い、今後の展開に期待出来る面白さ。非現実的だが現実味のある複雑な人間関係が描かれた物語。

「魔女戦記」熱意制作中。

## CONTENT

- 3p 魔女戦記とは（解説&制作意図）
- 4p ~ 5p 天使と悪魔（天使の物語上の設定）
- 6p 使徒（使徒の物語上の設定）
- 7p 魔女（魔女の物語上の設定）
- 8p ~ 9p 主人公設定（主人公について解説）
- 10p ~ 11p 立ち絵・表情
- 12p ~ 15p イラスト（第1期～第3期解説）
- 16p あとがき

電網浮遊都市アルファポリスにて制作中の『魔女戦記』。物語は『ヨハネ黙示録』という聖書を基に構成されており、魔女戦記はその内の十二章から十四章の『天の戦い』が過去に起こり、後の十五章から十六章の『七つの災い』から物語が始まります。ここまで物語の過去の説明となりますが、内容理解にかなり差が生じると思います。簡単に説明すると、主人公が存在するはるか前に天使を身に宿した使徒達と、悪魔を身に宿した魔女達による覇権争いによる大規模な戦争がありました。結果は使徒達が勝利を収

めました。その数年後に強大な力を宿した七十二体の魔女達が再び人間と使徒達を始末すべく、四百年間にわたる以前よりも激化した戦争が生じます。これが魔女戦記上の『天の戦い』です。戦争は激化した事で両者壊滅状態となり、魔女と使徒達は互いの『禁書目録』に天使と悪魔の力を変換されてしまい、禁書目録と共に封印されてしまいます。これにて『天の戦い』は終了します。そして長い時間が経ち、世界では互いの禁書目録の保管か処分を議論していましたが、何者かに片方の禁書目録が強奪される事態が

起こります。そこから主人公の物語の始まりとなります。この内容は小説内のプロローグとして載せる予定です。伏線回収などに読んでも頂けるとより楽しんで読めるかと思えます。長々とあらすじの説明となりましたが、少しは興味を持って頂けたらか。このページを過ぎると魔女戦記上の天使や悪魔、魔女の設定資料の一部公開となります。（※多少の残酷な設定があるのでご注意下さい。）

# 天使と悪魔



天使とは『天使使役禁書目録』にて、『天の戦い』が起こる前に存在したとされる光の象徴、または大いなる魔術師を示す。禁書目録には当時存在した七十二体の天使の名と呪印が書かれており、呪印を得た者は天使の力が宿ると言われている。七十二体にそれぞれ異なる階級と能力が保持されており、対となる悪魔との相性にも関係が生じるとされている。天使界で最も厄介な扱いを受けているのは七つの大罪のルシフェルを他にレヴィアタンやベルゼブブ。アスモデウスにベルフェゴール、マモン、サタンである。

悪魔とは『悪魔使役禁書目録』にて、『天の戦い』が起こる前に存在したとされる闇の象徴、または大いなる魔術師を示す。禁書目録には当時存在した七十二体の悪魔の名と呪印が書かれており、呪印を得た者は悪魔の力が宿ると言われている。七十二体にそれぞれ異なる階級と能力が保持されており、対となる天使との相性にも関係が生じるとされている。天使の中でも最高階級であるセラフィムは悪魔界では特に忌み嫌われており、セラフィム単体で複数の悪魔が束にならなければ適わないとされている。



# 魔女

# 使徒

No.32 Asmodeus

『天使使役禁書目録』にて、天使の名と力を身に宿した疑似天使、または元人間を示す。呪印を直接肉体に彫り、天使の名と力を受け継ぐ代償に、呪印を彫った者は自身の名と呪印が受肉されてしまう為、天使の名と力を返還すると命を絶ってしまう。現代ではそれらの技術を応用し、ドナーの細胞から使徒化させるクローンを人工子宮にて精製し、天使の名と力を受け継ぐ、新たな生物兵器として誕生。呪印は彫った本人の体の一部にあり、場所は様々である。当時の記録では神聖かつ捨て駒のような矛盾した扱いを受けていた。

『悪魔使役禁書目録』にて、悪魔の名と力を身に宿した疑似悪魔、または元人間を示す。呪印を直接肉体に彫り、悪魔の名と力を受け継ぐ代償に、呪印を彫った者は自身の名と呪印が受肉されてしまう為、悪魔の名と力を返還すると命を絶ってしまう。現代ではそれらの技術を応用し、女性ドナーの細胞から使徒化させるクローンを人工子宮にて精製し、悪魔の名と力を受け継ぐ、新たな生物兵器として誕生。呪印は彫った本人の体の一部にあり、場所は様々である。当時の記録では邪悪の象徴、欲に塗れた人間の真の姿として扱われていた。

# 主人公設定

- 年齢：17 歳
- 身長：168cm 体重：42kg
- 血液型：AB 型
- 誕生日：??? / ???
- 好きなもの：読書 夜風 喫茶店の珈琲
- 嫌いなもの：人間 挑発 弱者
- 魔女序列：No. 35
- 魔女名：マルコシアス
- 能力：魔狼変貌
- 生涯：凶悪な武装組織 I0 に属する構成員にして序列 35 番目の魔女。孤児院で育ち、自身の異質な力を開眼した事により魔女疑惑をかけられ、孤児院から追放されてしまう過去を持つ。以降は自身（魔女）の存在を拒む PAX に対し激しい憎悪を抱き、復讐を糧に生きる。性格は冷酷で、辛辣な発言により反感や悪い印象を待たれるが、律儀に礼を言ったり素直になれず恥じらうなど、意外な一面を持つ。また、過去のトラウマから生存要求に駆られてしまい、戦闘時には急所を執拗に狙い、確実に息の根を止める凶暴かつ容赦の無さが垣間見える。



No.35 Marchosias

シア=F=Lupus  
Sia=F=Lupus



# 立ち絵

## Devil Ver



・魔女化すると耳が生える。

・グリフオンの翼。

・尻尾はモフモフ。

・翼（片翼）は広げると約 1.5m。

## Human Ver



・声優は沢城みゆきが良い。

・腰の位置が高い。

・全体的に黒い服装。



## 第1期：謎に包まれた転入生 その正体と日常に迫る

ある任務を果たす為、国立賢哲魔術学園と転入した謎の少女・シア。黒髪に赤い瞳、容姿端麗で文武両道と高スペック。しかし、性格は冷徹で時折辛辣な発言が目立つ事がしばしばあり、転入当時は周囲の反感をよく買ってしまっていた。だが、素直になれない自身を恥じる事や、律儀に礼をするなど意外な一面を見せ、仲間の支えもあり徐々に心を開いていく。楽しい学園生活を送っていたシアだったが、終わりの時間は止まる事なく進み続ける…

—また、みんなで一緒に過ごしたかった…








## 第3期：生存要求と力への渴望 悪魔化による精神汚染の進行

大規模なIOとPAXとの攻防戦が始まり、IOは不完全にも関わらず精製した72体の魔女を投下させた。戦闘により徐々に自我が芽生え始め成長していく魔女達にPAXは苦戦を強いられるが、セラフィム隊の到着により状況は一変する。その頃のシアは、偶然にも使徒となった学生時代の友人と出会い、避けられない戦闘が始まってしまう。殺したくないという葛藤を隙に深手を負ったシアは魔力循環の暴走により我を失ってしまう…



## 第2期：良き友との別れ 魔女としての本性を露にする

学園卒業と同時にIOの襲撃が発生。楽しかった学園生活は終わりを迎え、友人に自身の正体を明かすシア。襲撃は天使使役禁書目録強奪の作戦の一部だったのだ。IOに復帰したシアは、魔術師や使徒との交戦を繰り広げ魔女としての力を高めていった。だが、部下を引き連れとある任務を遂行していた時、セラフィムの階級を持つ強力な使徒と交戦。経験と戦闘技術の差にシアは敗北し、屈辱から次第に力を求めるようになる…



# あとがき

あまりいい出来ではないのが正直な気持ち。それは、クリスマスから年末年始はインフルエンザに感染してしまい、少しも手が付けられる状態ではなかったからだ。故に、この程度のクオリティになってしまった事を許して欲しい。さて、夏休み前からこの雑誌制作が行われてきたが、最後は満身創痍で期限もギリギリとかなり限界な状況で制作する事になってしまった。インフルエンザは仕方ないが、あの時にもっと頑張っていたら今こうして限界作業などせずに済んだという後悔の気持ちがある。だが、結果としてこの小説の紹介や元ネタ、まだ先の情報の公開など楽しみながら制作出来た。この雑誌を読んで少しでもこの小説に興味を持ってくれると嬉しい。

